

# EagleTaq Master Mix with ROX

加水分解プローブを用いたリアルタイム PCR 用マスターミックス

Cat. No. 05 876 486 001

5 x 1 ml (500 x 20 µl 反応)

Ver. 2015.04

保存温度 -15~-25°C

## 製品説明

本製品は、加水分解プローブ検出に最適な2x濃度のリアルタイム PCR 用マスターミックスです。

ROX リファレンス色素による補正を必要とするあらゆるリアルタイム PCR 機器に対応しています。

本製品は、Roche Molecular Systems, Inc が提供する、PCR 酵素として最も定評のある酵素「EagleTaq DNA ポリメラーゼ」を採用しております。

## マスターミックス内容

本試薬は、EagleTaq DNA ポリメラーゼ、dNTP (dUTP を含む)、ROX リファレンス色素、専用バッファーを含む、2x 濃度のマスターミックス試薬です。

プローブ、プライマー、テンプレート以外の必要な試薬が含まれています。

## 保存方法

未開封のキットは -15 から -25 °C で保存してください。

開封後は +2 から +8 °C で 3 ヶ月間安定です。

## PCR 反応溶液セットアップ

コンポーネント	容量	最終濃度
EagleTaq MM with ROX (2x)	10µl	1x
加水分解プローブ	適量	100~200 nM
Forward プライマー*	適量	200~1000 nM
Reverse プライマー*	適量	200~1000 nM
H <sub>2</sub> O	適量	
テンプレート (DNA や cDNA)**	適量	gDNA: 10 pg-500 ng cDNA: 10 pg-100 ng
合計	20µl	

\* プライマーやテンプレートの希釈は、PCR グレードの H<sub>2</sub>O または Tris-HCl バッファー (5-10mM, pH 7.5-8.0) を使用してください (TE バッファーを用いると溶液中の Mg<sup>2+</sup> 濃度が変化してしまいますので避けてください)。

\*\* cDNA は反応液量の 10% を超えて持ち込むと、PCR 反応を阻害することがあります。まずは、10 倍、100 倍などの段階希釈したもので阻害がかからないか確認することをおすすめします (阻害がある場合は、増幅シグナルが等間隔で得られません)。

## PCR 反応プロトコール

現在ご利用のリアルタイム PCR の反応プロトコールでほとんどの場合は問題なくご利用いただけます。ご参考のため、典型的なリアルタイム PCR の反応プロトコールを一例として以下に示します。

Step	UNG*	Activation	PCR		
	Hold	Hold	Cycles (40 Cycles)		
			ステップ1	ステップ2	ステップ3
時間	2min	10min	15sec	1min	1sec
温度	50°C	95°C	95°C	60°C	72°C

\* UNG 添加によるキャリーオーバーコンタミネーション防止の場合のみ必要です (UNG ご利用の場合には別途 LightCycler<sup>®</sup> Uracil-DNA Glycosylase (03539806001) をお求めください)。

## オーダー情報

製品名	包装単位	製品番号
LightCycler <sup>®</sup> Uracil-DNA Glycosylase	100U	03539806001

## お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせや、上記関連製品に関するお問い合わせは当社までご連絡ください。